

2017.9.27

支 部 通 信

No 72



長野県電気工事業工業組合長野支部
合同会社長野電気引込工事センター

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中 部 電 力 (株) 篠ノ井(営) 所長	忠地 仁誠	----- 3
3	地 区 だ よ り	長 野 西 地 区 長	伊東 敬晃	----- 4
		長 野 東 地 区 長	町田 幸司	----- 5
		須 高 地 区 長	竹前 廣克	----- 6
		中野・飯山地区長	玉木 新二	----- 8
		同 副地区長	村石桂太郎	----- 9
		更 埴 地 区 長	酒井 重喜	----- 10
4	フ リ ー ト ー ク	更 埴 地 区	峯村 光子	----- 11
		須 高 地 区	湯本 栄二	----- 12
		長 野 西 地 区	日極 量博	----- 14
		長 野 東 地 区	西原 眞治	----- 15
5	中部電力株式会社異動報告			----- 16
6	新 役 員 名 簿			----- 17
7	講習会・試験実施開催一覧表			----- 18
8	編 集 後 記	総 務 委 員	村石桂太郎	----- 19

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「長野市芋井から望む 北アルプス」

北アルプスという呼び名は通称で正式名称は飛騨山脈、最高峰は奥穂高岳の3,190mです。

日本国内の3,000mを越える高山は21座、その内10座が北アルプスにあり、そして槍ヶ岳・穂高岳に8座と、最も多く集中しています。

北アルプスは造山運動が古くから起こり、南アルプスに比べ浸食が進んでいるため山容は急峻となり、今も多くの登山者を魅了してやみません。

写真撮影：高橋 十二郎 氏



「はがきの神様」

～ いつも思うのですが ～

支部長 大田 敬壹

8月になると、いつも思うのですが、5月に支部総会が終わると、6月の役員会で今年度の課題や計画を立てます。そして7月になって本格的な支部活動が始まります。やれやれと思う間もなく、8月に入ると「支部通信」と「電工組だより」の原稿依頼と締切日が届くのです。けれど盆明けは、行事がいくつも重なっているため、そのあいさつ文を考えなければならないのにッ！・・・。「何故、原稿と締切日がこの時期なのか」と。

8月になると、いつも思うのですが、真夏の「空の青さ」と沸き立つ「入道雲の白さ」を毎年、何度も見上げてきました。そして、お盆がやって来て、「盆の明かり」が日本中を染めるころ、終戦記念日もやって来ます。そして今も変わらない「蝉しぐれ」。人はそれを聞きながら、それぞれの「あの日」を思い重ねます。やがて、いにしへの風が軒下に流れ、風鈴がはかなく響き渡るとき、小枝の空蝉までも「忘れないで」と鳴くのです。お盆ぐらい、テレビで甲子園の高校野球を見ながら、団扇をあおってビールを「クィ！」と。そんな風に「ゆっくりと夏休みを過ごしたい」と。

さて、いつも思うのですが、苦しい時の神頼み。聞いたところによると、奈良県には「はがきの神様」とやらがいるらしい。(ここからは新聞の話)、『▼奈良県の葛城山に、ひと言の願いをかなえてくれる神様の「一言主(ひとことぬし)神社」があるそうだ。「イチゴンさん」と呼ばれる神社にちなみ、願いごとをつづる「はがきの名文」コンクールが開かれた。2回目となる今年は応募が2万7千点。▼その一つ、茨城県常総市54歳の公務員の男性は、忘れがたい夕食の一幕をつづる。「ワガママを言う君らに怒った妻が、夕食作りをボイコット。食卓に置かれた納豆3個。そしてトイレに籠(こも)る妻」と書きおこす。▼「息子がリュックを背負う。黙って出て行き戻ったその手に弁当一つ。トイレの前へ。食べないと死んじゃうと弁当差し出す小一男子」。感激した妻がトイレで泣き、以来その日は感謝の念を刻むよう夕食にあえて弁当を食べる日になった。▼京都府の88歳の女性は、30年前に亡くなったご主人に一筆。「いつ、お迎えに来て戴いてもいいですよ」「でもねー。明日は来ないでくださいね。明後日(あさって)も来ないでくださいね。明明後日(しあさって)来ちゃいやですよ。またお手紙します」。▼手書きの分面が息づかいや心の温度を伝える。大切な人への便りは手書きに限ると思直した。』(朝日新聞・天声人語より)

5月に総会が終わり、新年度の活動が始まった。総会では、いくつかの難題を通して頂いた。自分も立場が代れば「すんなり賛成した訳じゃない」と言うだろうな。地区の再編成も可決された。前に進むには、仕方がないのかも考える。改選期だった今年は、新役員さんに若い活発な人が増えた。これからの業界に清新な風が吹くような気がする。

今年の大きな行事には、センターの技能オリンピック大会がある。既に更埴地区の担当で開校式も終わり、日々、大会に向けた訓練が進んでいる。恒例となった電気使用安全月間の配線診断のボランティアも、新聞等で多く取り上げられ、業界の「PR活動」にとっても大きな成果であり、その活発な活動が各地区で進んだ。

電力自由化で始まった変革の時代はまだ続く。センターの活動である耐圧試験は後期から順次「有料」に変わる。昇降柱の認定訓練等の費用についても有料とするかどうか？や役員定数をどうするか？なども今後の検討課題である。更に、支部・センターの安定した運営に欠かせない中部電力様から点検改修工事の新たな受注とセンター・会員の安心と安全の構築を今年も邁進したい。そして、皆様からご意見をたくさん聞かせて頂き、支部・センターの今後のあり方についても共に考えていきたい。

(余談の蛇足です) いつも思うのですが、もし「打ち出の小づち」があったなら、それを振って有能な AI (人工知能) ロボットを出して、「原稿を書いてね」と頼みたい。

(AI ソフトというのは、膨大なデータを自ら学習して、自分の AI 能力を高めていくようです。そして人間の目から見ると、とても奇異に見える行動でも、その行動が結果的に正しい場合があり、ソフトの開発者や人間にとって、その奇異な行動の原因を解明することができず、ブラックボックスになってしまうことがあるようです)

けれど子供のころ、道路で犬の前にお菓子を投げて、「そり」を引かせて遊んでいたら、2~3回、往復しただけで犬の逆襲に合ってしまいました。犬が直接お菓子を手元に取りに来たのです。「AI ロボットは、そんなこと決してないですよ？」。原稿締切日になって「原稿できた？」と聞いたら、原稿を渡されて「怠けないで！自分のことは自分でやりなさい。終わり！」って書いてあったら……。血も涙もあったものじゃない。その時は、「はがきの神様、お願い、手伝って！」……。

今年もよろしくお願い致します。



5月17日 長野支部定時総会 懇親会



中部電力株式会社長野営業所 山本所長



ご挨拶

中部電力株式会社
篠ノ井営業所長 忠地 仁誠

新秋の候 会員のみなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素は弊社事業に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この度 7月1日付の人事異動により、篠ノ井営業所に着任いたしました忠地でございます。微力ではありますが、長野電気引込工事センターの発展のために精一杯ご支援させていただき所存でございますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、電力システム改革の第3段である送配電部門の法的分離を見据え、昨年4月より弊社は「社内カンパニー制」を導入し、「発電」「電力ネットワーク」「販売」の3カンパニーを発足させております。篠ノ井営業所をはじめ、地域の各営業所は「電力ネットワークカンパニー」に位置付けており、管轄地域へ「安全かつ安定的に電気をお届けすること」を使命としておりますが、これは従来から何ら変わるものではありません。ついては今まで同様、会員のみなさまと良きビジネスパートナーとして、「電気」を通じ地域の発展に貢献してまいりたいと存じます。

一方で「インターネット受付」や「計器宅配」等、仕事の進め方については近年大きく変化しております。会員のみなさまのご協力もあり、今では申込みの9割以上がインターネットでの申込みとなっております。これにより会員のみなさまにとっては来店にかかる時間の削減が、弊社にとっては業務の均平化が図られ、双方の経営効率化につながっているものと思料いたします。会員のみなさまにおかれましては、インターネット申込みシステムの有効活用や利便性のさらなる向上に向け、ご協力いただくとともに、お気づきの点等ございましたら、ご意見を賜りたく存じますのでよろしくお願いいたします。

今年は、第35回引込および内線工事技能オリンピックの年となります。9月の長野県大会に向け、長野チームからは更埴地区の若い3名の選手が7月7日の開校式以降、日々訓練と勉強を重ねておられます。別々の会社から集まった若人が、一つの事に一所懸命取り組む姿を見ると、清々しさを感じ逞しさを覚えます。今回の機会で得た技術や知識・チームワークは、将来に亘りかけがえのない財産となるものだと思いますので、是非、頑張っていたきたいと思っております。弊社も全力で支援いたします。みなさまもご声援、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、安全と健康に十分ご留意いただきますようお願い申し上げますとともに、みなさまの益々のご繁栄を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。





新体制スタート

長野西地区長 伊東 敬晃

協力会長野支部の収斂しゅうりんに伴い、地区の編成が行われました。長水地区は国道18号線を境に東西に分かれ、東側と信濃町・飯綱町を加えた「長野東地区」そして、西側と西山地区を加えた「長野西地区」の二つの地区となりました。平成12年には長水地区会員も110社あり、第1から第5まで五つあったブロックも各々20社を超え、それぞれのブロックで活動していたと思いますが、近年では会員数の減少によりブロック別の会員数も不均衡となり、ブロックにより活動の差異が出てきておりました。この度の地区の編成により5ブロックをまとめて二つに分け、東地区40社、西地区41社という体制でやっていくことになりました。二つの地区になりましたが長い間「長水地区」として、また同じブロックで活動してきた者同士がバラバラになって、それぞれ別の地区として活動していくことは難しく、当面の間（できるだけ？）二地区合同で行事等は行っていきたいと思います。

ブロックごとの活動はさまざまあったかと思いますが、第3・4ブロック合同で春と秋の年2回、会員と中部電力長野営業所、中部電気保安協会長野営業所、電材店各社、メーカー各社の親睦のため、ゴルフコンペをおこなってきました。元々は、第3、4プロ



ック別々に行っていました。しかし、会員の減少により、いつしか合同で行われるようになりました。今年からは長野東・西地区の全会員にお声掛けし、6月27日に「第1回長野西・東地区合同親睦ゴルフコンペ」を行いました。参加メンバ

ーは昨年までとあまり変わりませんでした。これからも親睦のため続けていきたいと思ひます。秋に第2回を開催予定ですので地区会員の方は奮ってご参加ください。親睦といへば、ブロックごとに行っていた研修旅行も地区で行いたいと思ひます。方法等については今後役員会で検討していきますが、地区会員の親睦の場になればと思ひます。

お盆をすぎましたが、まだまだ暑い日が続き、豪雨も心配されます。皆様、自分の身を大切に、安全と健康にご留意ください。

十年目の善光寺奉仕活動

長野西地区長 町田 幸司

今年度より長野東地区 地区長を担当します町田幸司（旧長水地区 第4ブロック）です。ご挨拶と地区だよりの執筆をさせていただきます。

長野東地区会員40社の大所帯になりました。旧長水地区にて副地区長を担当していたとは言へ地区編成後最初の年でもあり色々分からないままのスタートです。通例の行事はそのまま継続となりますが、課題や検討事項が盛りだくさんであります。会員皆様のご協力にて「東地区は素晴らしい」と言ってもらえるよう任期を全うしたいと思います。何卒宜しくお願い致します。





さて、平成29年度『電気使用安全月間』の地区事業として文化施設 国宝善光寺本堂及び境内の電気設備の点検と清掃を8月18日に中部電力(株)長野営業所様、中部電気保安協会長野営業所様参加のもと長野西地区と合同にて実施しました。30名の多くの参加者の皆様ありがとうございました。雨模様の天気の中、雨にも濡れず無事に作業が終了できたこと皆様の日頃の行いが良い

事に感謝いたします。(私の行いの良い事も追加します。)大型連休の最後でもあり、観光客も多く非常に作業はやりづらかったと思いますが、無事故・無災害で終了できたことにも感謝いたします。

善光寺における本活動も10年近くになります。年々老朽化も進み目的である「電気の安全な使い方をPRする」に値する箇所が多くなりつつある施設だと感じます。今回も何点もの修繕箇所を善光寺事務局営繕課様に伝えました。奉仕活動とは言え地元の我々電気組合員が長野の国宝善光寺を電気設備不良から守る事が出来ると信じ、来年も再来年もそして将来も本活動を続けられればと思います。

余談ですが報道対応をする覚悟で活動に参加していますが、プレス数が少なく少し残念でした。我々の活動を多くの方にPRできればと思い来年の課題としたいと思いません。地区関係者の皆様、今後とも宜しくお願い致します。



臥龍公園の 街路灯点検・清掃

須高地区長 竹前 廣克

須坂市のシンボルである臥龍公園は、春の桜・秋の菊花展・併設の動物園もあり県内外から観光客が数多く訪れます。また市民の憩いの場でもあります、動物園は長野県内に6か所ありその中の1カ所ということです。

臥龍公園の点検・清掃は平成23年(竜ヶ池開池80年の年)から行い7年目を迎えた今年は、地区の担当委員会の会員6名と中部電力長野営業所から山本所長様をはじめ6名のお手伝いをいただき、総勢12名で8月24日(木)の午後の1時から4時30

分まで汗だくになりながら、灯具のガラスを外し丁寧に洗い・器具内の虫はコンプレッサー（ミワ電機商会）で綺麗にしました。中部電力様の今年初参加された近藤主任・隅崎主任は来年もぜひ参加したいと言われております。宜しくお願いします。

今回は34基のうち11か所の街路灯の清掃と分電盤5か所の絶縁測定、漏電点検を行い・広報車では、須坂・高山・小布施・若穂地区を回り電気の安全使用の啓発活動を行いました。作業中、公園の茶店の方より「街路灯を清掃してもらい、これから日が短くなるが足元が明るくなりありがとうございます。」と感謝されました。

臥龍公園事務所の山岸所長様には、閉会の挨拶の中で、来年の点検。清掃を依頼されました。

今年度の須高地区は藤澤副地区長（藤沢電気工業）・湯本経済組織委員長（信濃電設）・小林教育厚生委員長（こがね電気商会）・藤沢総務委員長（三高電工）の新役員で各行事を進めております。5月30日（火）に中部電力須坂訓練所にて昇降柱訓練を実施。7月13日（木）の定例会では須坂市健康づくり課の寺島あき子さんを講師に「熱中症を予防しよう」と題して講演をお願いしました。そして8月27日（日）には須坂市総合防災訓練に参加し、仮電源確保工事を行いました。

臥龍公園 点検・清掃



須坂市総合防災訓練



地区統合事業報告

中野・飯山地区長（中野ブロック） 玉木 新二



今年度は長野県電気工事協力会長野支部が、3月で解散になり、中野地区と飯山地区が合併することになりました。4月に各地区で総会を開き承認をいただきスタートいたしました。中野・飯山地区長兼中野ブロック長を玉木新二、中野・飯山地区会計兼飯山ブロック長を村石桂太郎で2年間よろしくお願いします。

当地区は中野ブロックと飯山ブロックに分かれて活動を計画しています。今年度は地区事業として保護具・防具耐圧試験及び測定器校正試験、昇降柱・計器技能確認訓練、



新年会及び定例会、安全大会を計画しています。ブロック事業として、定例会、現場パトロール、店舗パトロール、電気使用安全月間行事（一人暮らし高齢者宅配線診断）を計画しています。5月24、25日で保護具・防具耐圧試験及び測定器類校正試験を実施し、6月6日に中部電力須坂訓練所で昇降柱・計器技能確認訓練を実施し各社対象者100%で終了しました。今年度は、9月に現場パトロールと店舗パトロール

も計画しています。また2月ごろ中野、飯山合併記念としまして、中部電力飯山営業所さんと中部保安協会も交えて親睦旅行を計画しています。多数のご参加頂くよう計画をしたいと思います。各会員の皆様にはご理解ご協力をお願いします。また、8月1日から8月31日まで電気使用安全月間の事業として、毎年高齢者住宅の配線診断を行っています。今年度は中野地区 8月25日、松川、栗和田地区 12件、山ノ内地区は8月28日、宇木、横倉地区 16件、飯山地区は8月30日 32件で中部電力飯山営業所、中部電気保安協会、行政、地区民生委員様の協力で実施しました。その結果、配線の老朽化と漏電ブレーカーがっていない家が何軒かありました。危険性をお客様に説明し納得をいただいて、その場で修理出きる所は極力交換をしました。漏電ブレーカーが作動した時の応急処置の仕方など説明し役立て下さいと指導しました。対象者からの意見は普段か



ら、1人暮らしなので電気の事はよくわからないので点検していただいて安心しました。「大丈夫です」の声に「ありがとうございます」と感謝されました。火事や事故の起きないように電気を快適に安全に使っていただきたい。不安や困ったことがあったら、相談してほしい。最後に、ここ2年間かけて会員の皆様に意見を聞いて中野、飯山を一つの地区にしますので会員の協力をお願いします。

中野・飯山副地区長（飯山ブロック）
村石 桂太郎

ひとり暮らしの

お年寄りの配線診断

今年度、長野支部内の地区の再編があり、中野と飯山が一緒になり中野・飯山地区として活動が始まりました。どうしてもその地区の昔からの伝統があったり、地区会費、定例会の数・方法などいろいろな面で違いがありましたが、昨年より役員で会議を数回開催し統合に至りました。とりあえず既存の中野地区、飯山地区をブロックとして残し、徐々に統合していく予定です。問屋のD社北信営業所の業者会でも中野の業者の方とは知り合いましたので、昨年より合同で行っている昇柱訓練、計器・測定器の耐圧試験などは中野・飯山地区の事業として、スムーズに運営ができています。

そんな中、今年も8月30日に電気使用安全月間の一環として「ひとり暮らしのお年寄り世帯の電気配線診断」行いました。個人情報保護の時代、この事業ができているのは、長野支部でも中野・飯山地区だけと聞いています。今年は飯山市の市街地の新町、金山、曙町、北町、有尾の約50世帯を対象に民生委員、市職員、中部電力飯山営業所、ブロック役員が2班に分かれて▽漏電のチェック、▽洗濯機・電子レンジのアース点検▽電線の損傷の確認▽漏電遮断器・住宅用火災警報器の取付の推進などを実施しました。

ひとり暮らしといっても最近のお宅は漏電ブレーカが付いていて電氣的に問題があるお宅はほとんどないのですが、電子レンジを持っているお宅も相当数ありましたが、簡単に台所に置いてあってアースが取付けてないのも多数ありました。

飯山市内にはひとり暮らしのお年寄り世帯が約800戸あります。今年の配線診断でも、電気に関するだけでなく、テレビのリモコンの使い方や日常の心配ごとについても尋ねてくる方がいて、たまには話し相手になることも必要かなと感じました。私も毎年この事業に携わっていますが、昭和の時代から30年以上飯山地区では続けてきています。電気組としてずっと続けて行きたい事業と思っています。



電気使用安全月間



結果が付いてくる事を信じて

更埴地区長 酒井重喜

今年度の役員改選にあたり、4月の総会にて更埴地区長に選任されました、酒井重喜です。前期まで4年の会計経験だけで地区長の大役を仰せつかり、組合員の皆様方のご指導、ご協力をお願いする所存でございます。

新体制の下、4ヶ月が過ぎ事業もいくつかこなし6月には、昇降柱・計器訓練を終えることができ、結果はAランク63名・Bランク14名・計器26名で終了しました。今年の訓練者数は若いランクUP者もいたが、年配者の計器への変更や病欠が目立ち世代交代の時かと人材育成の必要性を感じました。

7月28日には配線診断を実施し場所は篠ノ井中央公園内の管理棟及び公園内便所・外灯等の電気点検・掃除等を行いました。

8月9日には電気使用安全月間のポスター配布とPR活動に大岡より千曲市の支所・消防署等6ヶ所訪問しました。その際、同行又協力して下さった会員・中部電力様ありがとうございました。

篠ノ井中央公園管理棟前



第一回技能披露会の様子

何と言っても今年の第35回引込および内線工事技能オリンピック長野県大会は、更埴地区の出場があります。出場選手は

- ・(株)寺澤電業社社員 伊東隆太君
- ・(株)KDK社員 高木健吾君
- ・賛宝電気(株)社員 山本達也君

以上3名です。

6月27日にオリエンテーションを開催し、7月7日には選手を含め総勢50人の開講式を開催しました。大勢の参集ありがとうございました。8月23日・9月13日に2回の技能披露会を行い、9月21日木曜日の長野県大会に臨みます。努力すると何事も結果がついてくると信じ、今後も地区の事業を含めて邁進したいと思います。

最後に、技能オリンピック長野県大会の参観・応援と今後のご指導をよろしくお願いいたします。

長野支部版 / スピーカーズ・コーナー



更埴地区 峯村光子（株式会社峰村電気商会）

私は毎年、年間3種類のジャムを作る。春近い冬のマーマレード、春のイチゴジャム、そして夏にあんずジャム。

マーマレードは友人から自宅の庭に生る夏みかんを送っていただいたもの。この夏みかんが届くと切れ味の悪い包丁で、黙々とみかんの皮を刻んで、手間をかけて作る。このジャムの苦みは春の味である。作り方はお得意様のおばあちゃんから教えていただいたもの。

イチゴジャムは近くのおぐりパークで季節のものを買い求める。最近のイチゴは甘くておいしい。2パックのイチゴに1個のレモンを絞り、砂糖を控えめにしたそれは本当においしい。電子レンジで10分で出来上がり。

あんずジャムは6月下旬から出荷される”平和”を使う、友人が自宅まで届けてくれるものだ。あんずのシーズンは短く、うっかりしていると見逃してしまう。平和を使ったジャムは色がきれいで味のバランスが良い。ジャムは保存食品であるが、やはり作りたてがおいしい。このジャムを作ることになったきっかけは、東京の友人2人が長野へ遊びに来たこと。三人で森へあんず狩りに出かけたところ、仮設の茶屋でジャムを作っている店主に出会い作り方を知る。その場で生の杏を買い求め自宅にて第1号のジャム完成。

当時わが家の台所はガスで炎の熱にさらされ首にタオルを巻きながらの作業であった。

左の鍋でジャムを煮、右のガス台で保存瓶の煮沸消毒を行う。その後ガス台が IH に代わり炎の熱からは、だいぶ開放された。3年ほど前、電子レンジを買い替えたところ、そのオープンには調理器具と食器の殺菌ボタンが付いていた。これで保存瓶の煮沸消毒からも解放される。あんずもイチゴと一緒にレンジで作れないものか？と考えるのは当然の帰結というもの。結果は出来上がりの色が違った。透明度のある美しい色が出なかった。

出来上がったあんずジャムはまず、名古屋の友人に送る。彼女は私のジャムを一口食べて“こんなおいしいジャム食べたことがない”と言ってくれた。それ以来送り続けている。また、東北大震災後知り合った津田鮮魚店さん、盛や水産さんにも送り、年に1回ではあるが近況報告を交わしている。このお二人とはミュージックセキュリティーのファンを通じて知り合い、震災の年と、翌年に被災した店舗を見せていただいた。津田さんは“縁もゆかりもない人たちと親せき以上の付き合いが始まったことに、人生の不思議を感じる”と言ってくれた。年を重ね、私もそう思うことが多くなっている。これからも人生の不思議をたくさん経験したいものである。

研修旅行での 体験

須高地区 湯本 栄二
(株式会社信濃電設)

今年の5月に須高地区の研修旅行で三重県に出かけました。今回は、そこで勉強したコンクリート製の電柱についてお話ししたいと思います。

1日目は桶狭間の戦いの地を見学後、中部電力川越発電所（世界最大の火力発電所、総出力4,802,000kW）の見学を、2日目には、いなべ市にある東海コンクリート工業株式会社を見学させていただきました。設立は昭和29年、敷地面積213,602㎡の広大な敷地でコンクリート二次製品の製造、主にコンクリート柱、コンクリートパイプ、マンホール、外壁、床に用いられるPC版などの様々なコンクリート製品の製造を手掛け



る企業の見学をしました。今回は普段私達が仕事をする上で関わりの深いコンクリート柱の製品化されるまでの作業工程をご紹介します。



まず縦方向のPC 鋼線にループ状の鉄筋を巻き付け鉄筋かごと呼ばれるものができ上がり、その後、縦のPC 鋼線を緊張、この緊張が強度やしなりを出すためには大切な工程です。

次に型枠に組込み、コンクリートを注入し遠心成形機（型枠を寝かせた状態で回転させ遠心力の力により型枠にコンクリートを貼り付ける状態にする）で数分程度回転させる。これで型枠からコンクリートが剥がれ落ちなくなる、これには感心しました。次に蒸気養生にてコンクリートを硬化させ養生後、型枠を外しPC 鋼線の緊張を解放して気中養生（野積養生）をして、所定の強度に到達するまで養生を行い出荷となります。

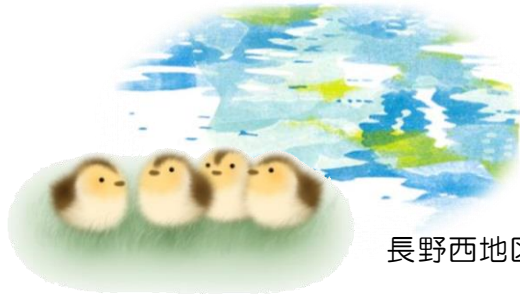
ひと通り工場内の見学が終わり、私が1番見たかったコンクリート柱の曲げ強度試験の見学です。柱を横に寝かせ元口を固定して末口側を真横に引いていき、一定の力がかった時点で柱のひび割れの数、ひび割れの幅等を計測して強度の有無を検査します。この検査は柱が折れるまで行われます。今回は先端を2.5m程度引いた時点で根本付近が折れました、最大では3mぐらいまで耐えるそうです。それを見て私たちは堅いコンクリートの柱がこれほど曲がるのかと驚きました。

2時間の見学を終えて、午後は愛知県日進市の人財開発センター内にある『電力資料館』を見学して帰路に着きました。

今回の旅行は私にとって貴重な経験となりました。ご協力いただいた関係者の皆様に感謝するとともに御礼申し上げます。ありがとうございました。

1日目に見学 中部電力 川越電力館テラ46





調整池

長野西地区 日極量博（中部電工株式会社）

三重公園の隣、北八幡川雨水調整池には自然が豊富だ。河川に接続する水害対策の人口池であるため、平素は水量が少なく、湿地草原の風情で植物が一面に繁茂している。その環境は様々な生物、とりわけ鳥にとって居心地の良いものらしい。

長野市設置の看板によると、同地で見られる鳥類はマガモ（冬）、カルガモ（冬）、キジバト（一年中）、ハクセキレイ（一年中）、ヒヨドリ（一年中）、モズ（一年中）、カシラダカ（冬）、カワラヒワ（一年中）、ムクドリ（一年中）、オナガ（一年中）、コガモ（冬）、ツグミ（冬）と多岐にわたる。

看板に記載のあるものはごく一部。調整池はさらに多様な鳥類を育てている。スズメやドバト、カラス、ツバメといった身近な鳥はもちろんここにも多く見られる。

首をすくめてじっとしている灰がかった大型の鳥はアオサギだ。ひとたび羽ばたけばツルと見紛うほど優雅に空を駆ける。稀にその横にやはり大きな白い鳥が並んでいることがある。シラサギ類は見分けが難しいが、どうもダイサギらしい。

木々の梢に目をこらすと、太陽をキラリと反射する小さなコバルトブルーに気付くかもしれない。カワセミはバードウォッチャーにも人気の鳥だ。運良く出会うとまずはその美しさに、やがてその俊敏さに目を奪われる。

探鳥の楽しみは視覚ばかりでなく聴覚にもある。陰に隠れて姦しいのはヒヨドリだろうか。ハシボソガラスの鳴き声は、ハシブトガラスに比べて情緒に欠けるようだ。オナガは綺麗な鳥だが、鮮やかな薄青色の尾に見とれていると、そのしゃがれた鳴き声に驚かされる。対してカッコウは、初夏にふらりと現れて、地味な見た目と裏腹に澄んだ声で高らかに鳴く。

季節ごとの変化があり、年間を通じて飽きることがないのも探鳥の魅力の一つだ。

最後にカルガモについて。市の看板では冬鳥となっているが、調整池のカルガモはすっかり定住を決め込んでいるようで、春からは子育てに余念がない。子ガモの成長は早く、今ではすっかり見分けのつかなくなった親子が、流れにぷかぷか浮いている。



働き方改革

長野東地区 西原 眞治（協栄電気興業株式会社）

平成28年8月に閣議決定された「働き方改革」は働く人の視点に立ち企業文化、ライフスタイル、働き方を抜本的に変革させようとするものです。労働人口の減少、長時間労働、少子高齢化、賃金等の待遇改善、メンタルヘルス、女性の働き方と社会進出、などなど多岐に渡っております。その中でも長時間労働に対する取り組みがクローズアップされ強化されている様で、一種の社会現象となっています。残業の上限規制導入に依って月間60時間、年間720時間の規制をかけて過重労働を減らす取り組みはもう始まっております。長野県でも労働局による昨年度の実態調査に乗り出し、半数以上の事業所に是正や改善指導を行ったと報道されたところです。

過重労働を減らす取り組みは、一見格好よく聞こえますがこの事によって国全体の残業代が8,5兆円も減少すると言う試算が経済総合研究所より出されました。この事は働く人たちの収入が減ると言う事、すなわち生活に直結する問題ではなかろうか。賃金（給料）、賞与等の引き上げが果たして働く人たちにもたらされるのか疑問に思われてなりません。

私達の世代は「企業戦士」「モーレツ社員」と呼ばれ、大型家電、自動車、マイホーム、等を手に入れる事を夢見て「モーレツ」に働いたものです。（但し今の時代では絶対に通用しません。）こんな時代もバブル崩壊とともに働き方が少しずつ変わって来たように思われます。

平成29年6月には長野県建産連にて、建設業でも毎月第2土曜日を『プレミアムサタデー』として建設現場そのものを全休とする事が決定されました。しかし現状ではどの範囲まで行う事が出来るのか甚だ疑問だし相当の時間を費やして取り組まなければ現状では難しいと思われまます。労働人口の減少、少子高齢化、すなわち生産年齢人口が継続的に減少し続けている事は紛れもない事実ですから、企業も働く人たちもあらゆる知恵を絞って効率良く働き、高い成果を上げる為の努力をしなければなりません。一人一人の夢は小さいものから大きなものまで有ろうかと思われまます、その夢の実現に向かって最大限の努力を続けて行きましょう。



中部電力株式会社 7月1日付 人事異動（関係分）

	所属・役職	氏名	前任地および新任地
転入	長野営業所 契約課長	樋澤 正裕	松本営業所 総務課長
	長野営業所 配電建設課長	宮下 敦史	本店 経営審査室 業務審査グループ スタッフ副長
	長野営業所 配電建設課 副長	丹羽 拓	本店 配電部 業務グループ 主任
	篠ノ井営業所 所長	忠地 仁誠	長野支店 営業部 法人営業グループ 販売統括部長
転出	長野営業所 契約課長	佐藤 美恵	退職
	長野営業所 配電建設課長	坂東 広嗣	本店 エネルギー応用研究所 研究主査
	長野営業所 配電建設課 副長	上野 健司	安曇野営業所 配電課長
	長野営業所 配電建設課 副長	岩下 勝	松本営業所 配電建設課 副長
	篠ノ井営業所 所長	小平 広志	一般財団法人 中部電気保安協会 出向

(順不同 敬称略)

長野支部今後の予定

平成29年 11月1日	水	電気工事保安講習会	長野地域職業訓練センター
12月14日 15日	木金	職長教育 ※2日間	長野地域職業訓練センター
平成30年 1月24日	水	長野支部新年会	メトロポリタン長野
2月20日	火	職長教育(再教育)	長野地域職業訓練センター
5月16日	水	長野支部・センター 定時総会	ホテル国際 21

長野県電気工事業工業組合長野支部

役員名簿

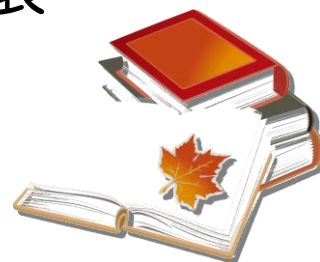
合同会社長野電気引込工事センター

平成29・30年度

No.	役職 上：長野支部 下：センター	氏名	事業所名	事業所電話番号	備考
1	支部長 代表社員	大田 <small>けいいち</small> 敬壹	日東電気工事(株)	026-263-6878	
2	副支部長 副代表	高津 和忠	高津電気工事(株)	0269-62-3521	
3	副支部長 副代表	伊藤 <small>よしのり</small> 善宣	(株)コスモ電設	026-244-0802	
4	理事 業務執行社員	伊東 <small>のりあき</small> 敬晃	(有)伊東電機商会	026-235-1223	長野西地区長
5	理事 業務執行社員	<small>ひずめ</small> 日極 <small>かずひろ</small> 量博	中部電工(株)	026-243-1384	
6	理事 業務執行社員	町田 <small>こうじ</small> 幸司	大栄電気設備(株)	026-226-4662	長野東地区長
7	理事 業務執行社員	<small>わたべ</small> 渡部 進	(有)明星電設	026-222-3261	
8	理事 業務執行社員	竹前 <small>ひろかつ</small> 廣克	(有)竹前電設	026-248-1081	須高地区長
9	理事 業務執行社員	藤澤 一彦	藤沢電気工業(株)	026-248-4303	
10	理事 業務執行社員	藤沢 一三	高山電業(株)	026-245-5733	
11	理事 業務執行社員	玉木 新二	(有)テック	0269-26-5807	中野・飯山地区長
12	理事 業務執行社員	村石桂太郎	(有)越後屋電器商会	0269-62-2422	
13	理事 業務執行社員	酒井 <small>しげき</small> 重喜	丸十電気(株)	026-292-1616	更埴地区長
14	理事 業務執行社員	久保田 <small>たかのり</small> 貴律	久保田電設工業(株)	026-278-6605	
15	理事 業務執行社員	蟹澤 <small>けいじ</small> 佳治	賛宝電気(株)	026-283-0788	
1	長野支部監事	徳竹 貞夫	(有)徳竹電気	026-241-5005	
2	長野支部監事	奥村 明弘	オクムラ電気	026-243-9633	
3	長野支部監事	木下 浩治	木下ラジオ店	026-247-2552	
4	長野支部監事	小林 忠	小林電気(株)	0269-62-2771	
5	長野支部監事	吉川 利広	(株)藤縄電機製作所	026-283-1320	



各種講習・試験実施開催一覧表



講習会名	開催日	会場
消防実務講習会	9月27日(水)	塩尻市レザンホール
第一種電気工事士筆記試験	10月1日(日)	近県 埼玉・東京・愛知県
1級電気工事施工管理技士実地試験	10月15日(日)	近県 東京・名古屋
電気工事保安講習会長野会場	11月1日(水)	長野地域職業訓練センター
同 松本会場	11月21日(水)	松本ふれあいセンター
同 上田会場	11月24日(金)	佐久平交流センター
同 飯田会場	11月27日(月)	駒ヶ根市民交流活性化センター
同 諏訪会場	11月29日(水)	諏訪市文化センター
第一種電気工事士定期講習会 長野会場	11月2日(木)	長野地域職業訓練センター
2級電気工事施工管理技士 実地試験	11月12日(日)	近県 東京・名古屋
第一種電気工事士技能講習 (2日間コース)	11月中旬実施予定	長野県長野技術専門校(未定)
第一種電気工事士定期講習会 松本会場	12月1日(金)	松筑建設会館
第一種電気工事士技能試験	12月3日(日)	近県 埼玉・東京・愛知県
1級電気工事施工管理技士 学科受験 準備講習会	H30 4月11日(水) 12日(木)	松筑建設会館
1級電気工事施工管理技士 実地受験 準備講習会	H30 9月1日(土)	松筑建設会館



9月14日 総務委員会 長野電気会館に於いて

編集後記

皆様のおかげをもちまして支部通信第72号が発行となりました。
お忙しい中寄稿頂いた皆様、ご協力ありがとうございました。

今年度、長野支部は地区の編成が変わり、長水は2地区に、中野・飯山は1地区になりました。伝統やしがらみの中で組織が変わるということは大変なことと思いますが、時刻が解決してくれると思います。あわてずゆっくり再編をしていきたいと思っています。

さて今年度は引込および内線オリンピックの年です。更埴地区の若い3名が日々練習に励んでいます。健闘を祈り編集後記とさせていただきます。

総務委員 村石 桂太郎

編集

担当副支部長	高津 和忠	総務委員	渡部 進
総務委員長	竹前 廣克		村石桂太郎
総務副委員長	伊東 敬晃		蟹澤 桂治
			(事務局 倉嶋)

美しく快適な省エネ照明を求め続ける



ながの電材会

大沢電機株式会社
昭和電機産業株式会社
株式会社デンセン
株式会社ニッセー電機

(五十音順)

